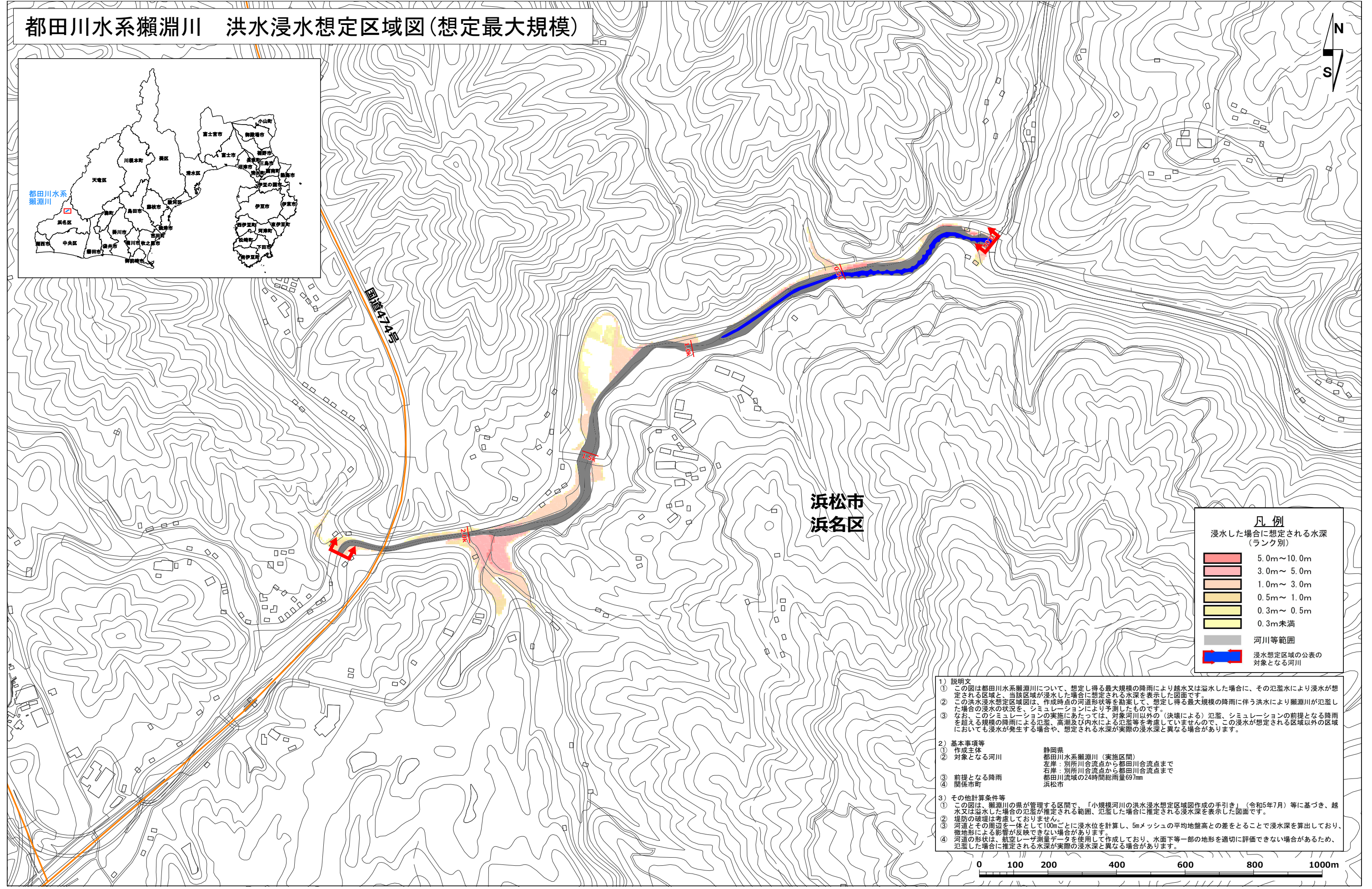
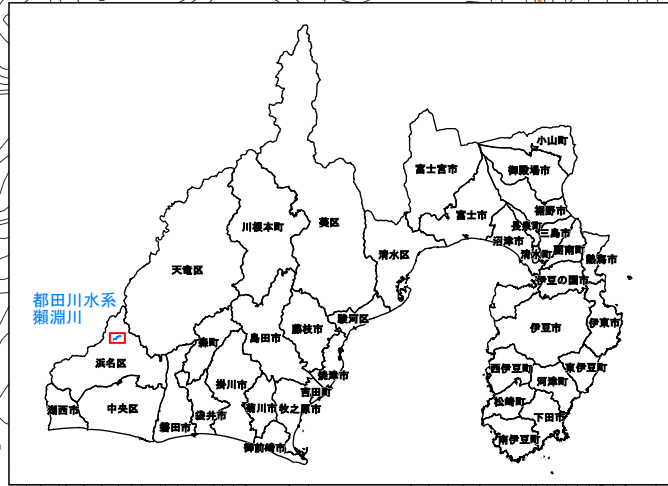


# 都田川水系瀬淵川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



**凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

	5.0m～10.0m
	3.0m～5.0m
	1.0m～3.0m
	0.5m～1.0m
	0.3m～0.5m
	0.3m未満
	河川等範囲
	浸水想定区域の公表の対象となる河川

- 1) 説明文  
 ① この図は都田川水系瀬淵川について、想定し得る最大規模の降雨により越水又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 ② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により瀬淵川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんのでこの浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2) 基本事項等  
 ① 作成主体 静岡県  
 ② 対象となる河川 都田川水系瀬淵川(実施区間)  
 左岸：別所川合流点から都田川合流点まで  
 右岸：別所川合流点から都田川合流点まで  
 ③ 前提となる降雨 瀬淵川流域の24時間総雨量697mm  
 ④ 関係市町 浜松市
- 3) その他計算条件等  
 ① この図は、瀬淵川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き(令和5年7月)」等に基づき、越水又は溢水した場合の氾濫が想定される範囲、氾濫した場合に想定される浸水深を表示した図面です。  
 ② 堤防の破壊は考慮していません。  
 ③ 河道とその周辺を一体として100mごとに浸水位を計算し、5mメッシュの平均地盤高との差をとることで浸水深を算出しており、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ④ 河道の形状は、航空レーザー測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用し、「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 425」※A1版出力時は1:5,000、A3版出力時は1:10,000